366日の昔話

福娘童話集

花さかじいさん

福娘童話集　きょうの日本昔話より

花さかじいさん　QRコード

おなまえ

福娘童話集　豆本シリーズ 4

むかしむかし、あるところに、おじいさんと おばあさんが すんでいました。

二人は 子どもが いなかったので、シロという イヌを とても かわいがっていました。

ある日、シロが はたけで ほえました。

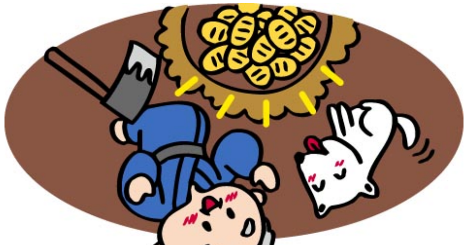
「ここほれワンワン、ここほれワンワン」

「おや？ ここを ほれと いっているのか。よしよし、ほってやろう」

おじいさんが ほってみると、

「ややっ、これは すごい！」

なんと、じめんの 中から おおばんこばんが ザクザクと 出てきました。



このはなしを きいた、となりの よくばりじいさんが、

「わしも、おおばんこばんを 手に入れる。おまえの シロを、わしに かしてくれや」

よくばりじいさんは、シロを むりやり はたけに つれていきました。

そして、いやがるシロが キャンキャン ないたところを ほってみると、くさい ゴミが たくさん 出てきました。

「この やくたたずの イヌめ！」

おこった よくばりじいさんは、なんと、シロを なぐりころして しまいました。

シロを ころされた おじいさんと おばあさんは、なくなく、シロを はたけに うめてやると、ぼうを 立てて おはかを つくりました。

つぎの日、おじいさんと おばあさんが シロの おはかまいりに はたけへ いってみると、シロの おはかの ぼうが、ひとばんのうちに 大木に なっていました。

おじいさんと おばあさんは、その木で うすを つくって、おもちを つきました。

すると、もちの 中から たからものが たくさん 出てきました。

それを きいた よくばりじいさんは、うすを むりやり かりると、じぶんの いえで もちを ついてみました。

しかし、出てくるのは 石ころばかりで、たからものは 出てきません。

「いまいましい うすめ！」

おこった よくばりじいさんは、うすを オノで たたきわると、やいてはいに してしまいました。

おじいさんは せめて はいだけでもと、うすを やいた はいを ザルに 入れて もちかえろうと しました。

そのとき、はいが かぜに とばされて、かれきに かかりました。

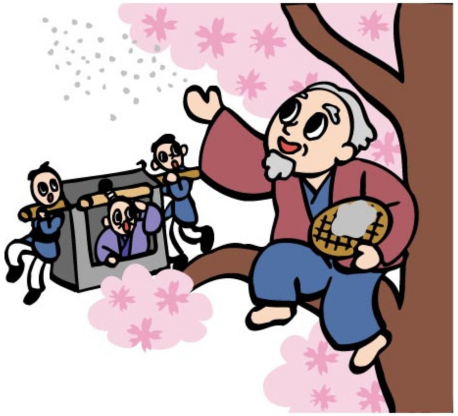
するとどうでしょう。

はいの かかった かれきに、まんかいの花が さきました。

おじいさんは うれしくなって。

「かれきに 花を さかせましょう。パアーッ」

と、いいながら、つぎつぎに はいを まいて、かれきに うつくしい花を さかせました。



ちょうどそこを、おしろの おとのさまが とおりかかりました。

「ほう、これは みごとじゃ」

おとのさまは たいそうよろこんで、おじいさんに たくさんの ごほうびを あげました。

それを 見ていた よくばりじいさんが、

「おい、そのはいは、わしが やいて つくったものだ、わしに よこせ！」

むりやりに はいを とり上げると、おとのさまに いいました。

「とのさま、このはいは わしの ものです。わしが かれきに 花を さかせますから、わしにも ほうびを 下さい。バアーッ！」

よくばりじいさんは、とのさまの まえで たくさん 花を さかせようと、はいを いっせいに まきました。

すると、はいが おとのさまの 目に 入って、よくばりじいさんは おとのさまの けらいに さんざん なぐられました。

おしまい。

福娘童話集　豆本シリーズ

- ももたろう
- かぐやひめ
- カチカチ山
- 花咲じいさん
- 金太郎
- 浦島太郎
- かさじぞう
- サルカニがっせん
- いっすんぼうし
- したきりスズメ
- つるのおんがえし
- 赤ずきんちゃん
- ジャックと豆の木
- あわれなあくま
- シンデレラ
- しらゆきひめ
- マッチ売りの少女
- メスウシとライオン
- ガリバーの冒険
- 眠れる森の美女
- おやゆびひめ
- みにくいアヒルの子
- にんぎょひめ
- 花のおじいさん
- はだかの王さま
- ゾウのはなはなぜながい
- ヘンゼルとグレーテル
- アリババと40人の盗賊
- ウサギとカメ
- 北風と太陽

福娘の携帯向けサイト

- 福娘童話集
  （世界と日本の昔話）
- 366日への旅
  （記念日・誕生花・誕生日）
- こどもの病気相談所
  （こどもの病気検索・対応など）
- 世界60秒めぐり
  （世界の国々の豆知識）

QRコード

http://hukumusume.com